

もりもり通信 No.15



八王子市議会議員

森ヨシヒコ 市政報告



森 喜彦（もり よしひこ）1981年生。
八王子市役所職員を経て現在、八王子市議会議員（現在2期目）。無所属（会派は立憲民主・市民の会）。2023年からは都市環境委員長、都市計画審議会委員を務める。私立海城高等学校、東京都立大学法学部卒。趣味は登山やサイクリング、アマチュア無線など。保護猫と同居中。清川町在住。

つくろう 市民自治の豊かな社会

はじめに

昨年の市議会議員選挙から早くも1年が経ちました。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になり、市内のイベントや人々の交流は活況を取り戻しつつありますが、急激な物価高に賃金や年金の水準が追い付かない状況が続いています。円安や株高はアベノミクスによる国債の増発や株式市場への介入の結果と言えますが、金利政策の転換は国債利払い費の増大、財政悪化のリスクがあります。アベノミクスには出口戦略が無いという指摘は従前からありましたが、責任を取るべき政界には政治資金や旧統一教会との関係など、責任以前の問題が山積です。政権交代のかけ声が聞こえてくる中、7月には都知事選挙・都議補選等も行われます。一部業界の一時的な利益のための政治ではなく、地域の暮らしを出発点に、共通的社会資本を涵養する政治が求められています。

八王子市議会 第1回定例会

1月22日、八王子市長選挙が執行され、第32代八王子市長に初宿和夫氏が就任。翌2月22日からは八王子市議会第一回定例会が開催されました（会期末は3月27日）。第1回定例会は新年度に向けた事業、それを支える予算や推進体制などが審議の中心となりましたが、新市長就任後間もない定例会のため、提案された予算案は、義務的経費や施設の維持管理費経費や運営費など、経常的な経費を計上する「骨格予算」でした。市長提案事業の政策と予算は6月の第二回定例会以降となりますが、今回審議対象となる当初予算案は骨格予算とされているにも関わらず、前年度予算と比べて一般会計で9億9千万円増の2272億円、特別会計は5億8600万円増の1965億円、合

計4452億3000万円となりました。

予算増大の主要因は社会保障費の増大のほか、国による給付金事業、いちょうホールの大規模修繕費用などです。八王子市は行財政改革を継続的に取り組み、経常収支比率や市債残高の圧縮、将来負担比率の改善に努めてきました。これまでの財政状況は健全と評価しておりますが、2023年5月に策定された『八王子市経営計画』では、社会保障費を始めとした義務的経費の増加ペースに対して税収が追い付かず、市財政は厳しい局面を迎えると予測されています。税収減少の主要因は生産年齢人口減少であり、八王子市の特殊な状況ではありません。

市の税収が頭打ちを迎える危機感から、予算委員会等では今後の税収確保に向けて稼働年齢人口や交流人口の増加に向けた施策や積極的な企業誘致を求める質問や発言が多く出されました。



予算審査特別委員会で総括質疑（写真は市議会インターネット中継より抜粋）

八王子市は他の中核市をはじめとした類似団体に比べて人口当たりの職員数（人件費）は抑制されており、運営経費削減や業務効率化といった内部コスト削減の効果は限定的です。バブル崩壊以降の日本経済は失われた30年間と言われていますが、自己責任と競

争を追求しすぎたことが社会格差の拡大と固定化を生み、社会経済の停滞、将来不安や少子化の原因となっています。国は今年度、過去二番目の規模となる112兆円の前年予算を組みましたが、防衛予算に多額の歳出を見込む一方、財源確保の見通しは不透明なままです。子ども予算についても、医療保険料と併せて徴収される「こども・子育て支援金」は子育て世代の負担増加や雇用環境悪化を招く可能性があり、将来不安が払拭される内容ではありません。

基礎自治体の財政が拡大しても、その実態は国の事業をスライドするための予算であり、地域の実情に応じて主体的に動かせる予算は依然として厳しい状況にあります。状況を打破するためには国政から変えていかなければならないと感じています。

森ヨシヒコは「予算審査特別委員会」の総括質疑等をつうじて、市職員の職場環境改善や庁内応援体制の課題、歴史や文化を活かした町づくりや都市間交流、地区防災計画の策定推進や非行や犯罪をした人の社会復帰支援などについて質問しました。

公共施設再編に向けて

八王子市は人口急増や市街地の拡大に伴い、公共施設を整備してきましたが、建設から数十年が経過し建て替えや大規模修繕をしなければならない施設が今後増えていくことが予想されます。地域に住む方の年齢構成や産業構造の変化などにより、街に必要な機能や施設の役割も変化しますので、修繕に合わせて機能集約や環境性能向上、多目的化なども望まれるところです。今後、市内各地で「地域づくり推進会議」が進められますが、施設再編にあたっては行政の発意だけでなく、地域の声を反映させていくことが重要です。



(写真は八王子市ホームページより引用、左から順に教育センター、あつたかホール、いちようホール)

市議会活動の1年間

この1年間で、森ヨシヒコが市議会に質問した項目や提起した議題をまとめました。詳細はインターネット会議録をご覧ください。

・教育センターの今後の利活用／公共施設再編の手順／八王子市再犯防止推進計画の取り組み状況／公共施設の利用と制約される行為について／給食や教育の無償化に向けた学校徴収金のあり方／人材確保の仕組みづくり／庁内ハラスメント防止対策／カスタマーハラスメント対策／手話言語条例とデフリンピック／ICT教育の評価と今後のあり方、機器の維持更新に向けた課題／シェアサイクル事業／図書館の今後のあり方／片倉城跡公園周辺整備／大久保長安関連都市との交流事業／職員が効率よく働ける環境整備（応援体制や庁舎設備等）

(上記項目は質問の趣旨であり、質問通告書の表題とは一致しません。)



森ヨシヒコが提出した議案

議員提出議案第5号 地方財政の充実・強化に関する意見書(全会一致で可決)／議員提出議案第7号 イスラエルとパレスチナの持続的な休戦と人道支援を求める決議(全会一致で可決)

ニュースに対するご意見や感想、市政相談は下記まで気軽にお寄せください。後援会の加入、ポスター掲示の御協力、ポスティングなどのボランティアも随時募集しています。

発行・問合せ先：森ヨシヒコ後援会
〒193-0804 東京都八王子市清川町 19-10
Tel： 070-5580-6844
Fax： 042-698-5013
ホームページでの発信も行っています。
Email： info@moriyoshihiko.net
WEB： <https://www.moriyoshihikohachioji.com/>

